

第 12 回

関西やんぼし会

会 報

平成 26 年 10 月 25 日

特別寄稿 着任挨拶

熊本県立大津高等学校 教頭 安方幸子

大津高校は初任 2 校目、平成 8 年度から 5 年間勤務し、たくさんの事を勉強させていただいた学校です。その間ご一緒した先生が数名残っておられ、懐かしい想いと緊張感を持って今年 4 月 1 日に着任しました。



10 余年ぶりですが、素直で心豊かな生徒たちと、生徒の夢の実現のために一生懸命な先生方が集う活気ある学舎に変わりはありませんでした。

教頭として、生徒と先生方への愛を持って、更なる発展の為に、“凡事徹底”で努めます。

特別寄稿 自己紹介

鷹揚同窓会副会長 第 18 回 昭和 41 年卒
原田 スエ子

高校 18 回生・鷹揚同窓会副会長の原田スエ子でございます。鷹揚会副会長 6 年目で事務局・会務会計・特別会計を担当しています。

大津町に住み、町の人権擁護委員を 7 年間勤め、相談・啓発活動を行っています。

趣味は旅行・読書・観劇などです。今年には長崎県の軍艦島・東北地方・韓国など

旅行に行ってきました。

健康面では朝のラジオ体操・ノルディックウォーキングを頑張っています。

最近気になっていることは、熊日新聞で連載されている原田マハ作「リーチ先生」に登場する人たちで、特に柳宗悦が気になっていません。



もうひとつ、鷹揚同窓会や関西やんぼし会・関東やんぼし会でも課題に挙げられている、同窓会の活性化をどのように図るかという問題です。このことについては、いろいろな意見や方法を出し合っ

ていきたいと思っています。共通する課題として関西・関東やんぼし会の皆様と情報交換を行いよりよい方向に進みたいと考えています。

皆様どうぞよろしくお願いたします。

特別寄稿 いつも心にふるさとを !!

関東やんぼし会 副会長
第 14 回 昭和 37 年卒 阪本富士夫

大津高校を卒業して上京し、学生生活を経て就職は結局東京でした。以来、東京での生活が 53 年目となりました。今では定年退職後、家庭菜園やボランティアをして、人生を謳歌しています。

その間、郷里へは時折帰りましたが、よく阿蘇山を眺め、噴煙の北か、南かで天気を予想したものです。長い年月の間、幸いなことに我々「高校 14 回生は結束が固く、毎年のように同級会を主に熊本で開催し、関西・関東でも開催、今でも同級生との交友が続いており、大変嬉しく思っています。

さて、同窓会は本部の「鷹揚同窓会」、岳鷹会・福岡・関西・関東の五つの同窓会があります。各同窓会も会員の高齢化、若い同窓生の参加をどうするかなど、同窓会の活性化に悩んでおられることと思います。

共通の悩みを共有しながら連絡を密にし、お互いが前進出来ればと思っています。

特に関西・関東の関係は、高校3回生の関西の塚元会長、関東の阪本会長の縁で今まで交流が続いています。今後とも更なる緊密な関係を構築していきたいと思っています。

今、母校では「緒方校長」先生を先頭に

【凡事徹底】～大高力を結集し、目指そう文武両道日本一～を掲げ頑張っておられます。

特に今年の高校総合体育大会での後輩たちの活躍は目を見張るものがありました。今後の後輩たちの活躍を期待したいものです。

最後に「関東やんぼし会」の活動を紹介します。

- ① 年に一回の総会(70～80名が出席)
- ② 年末年始にかけて行われる全国高校サッカー大会・バスケット大会

母校が県代表として出場した時の応援。

母校が出場しないと正月も来ないと嘆く人もいます。

最後になりましたが「関西やんぼし会」の益々のご発展と会員皆様のご多幸、ご健勝をお祈りいたします。

会長辞任にあたり

第10回(昭和33年)卒 今村伍市

在任中は10年余の長きにわたり、会員並びに役員の方々には、一方ならぬご支援を頂き心より感謝いたしております。

私の後任は三代目会長として日吉氏が就任しますが、私にも増して各位のご協力を願うものであります。

会長は県人会の諸行事初め他団体との付き合い等々多く出費も嵩みます。役員諸氏にはこの点もご理解頂き、会長を盛り上げて頂くようお願いいたします。

1. 会の今後について

まずは会員相互の絆はより強く一致団結することです。

次に会を発展させていくか、このまゝの状態を続けるかという事になります。発展させるためには例え少額でも会費制にすることです。私は12団体より招待を受け参加しておりますが、各団体色々なイベントを行い、招待客

も沢山で矢部会などは招待客だけで五十名余になります。塚元氏が言うておられるように、会を興味あるものにすれば会の発展に繋がると思います。会報の発行も然りです。私も他団体に頼まれ沢山投稿しています。

2. 母校へのバックアップ

母校との絆はより強くし、卒業して関西へ来る人達がやんぼし会に参加できる雰囲気づくりをする。

私は幸いにも縁あって大津町長、校長、鷹揚会会長等と本人よりも家族をよく知っており、態度だけのバックアップをして参りましたが、本音としてはサッカーの現地応援なども選手の戦い易い素地を作ってやる事も必要と思っております。

幸いにも今年の高校総体では準優勝の栄に輝きました。残るは全国制覇のみです。母校も全国に知れ渡るようになり、我々卒業生にとっては多大なる誇りであります。私は辞任したとはいえ、会員には変わりありません。今後とも引き続きご厚誼を賜りますようお願い申し上げます。

趣味を楽しむ 第7回 昭和30年卒 森 唯雄

人生は早いもので平成6年58歳で定年退職をしてから20年が経過し、昨年77歳の喜寿を無事に迎えることが出来ました。

退職後は何をして過ごそうかと迷いました。無趣味だったが、第二の職場での友人の誘いで始めたのがマジックでした。関西やんぼし会の会報No.1に投稿した文書を読んで、今までよく続いたなと感心しています。

これまでの経過を振り返ってみました。第一回の演技は大阪駅前第一ビル 神戸大学凌霜クラブでの同窓会総会でした。総会には関西熊本県人会会長、大津高等学校校長、同窓会鷹揚会会長、関東やんぼし会会長と大勢の出席者の前でした。



演技時間の設定には幹事の皆さんが計画されていたいただき、総会の席で演技出来たことに感謝しています。演技の思い出は、演技が上手に出来た時、また、出来なかった時がありました。特に第一回から三回頃までの間の演技は、初代会長 塚元一彦(故人)さんはマジックに関して興味を持たれ演技でのネタを見抜くことに一生懸命だった事と見抜かれないように頑張った事が思い出として今でも残っています。二回以降の演技は現在も続いています。

振り返ってみますと、同窓会の皆さんの前で演技をしたことが自分にとって随分と役立ちました。どんな場所や大勢の前でも、ある程度度胸もついて演技が出来るようになりました。

今では大阪府や兵庫県、奈良県等の各自治体の福祉施設や老人会、子供会等の各種行事での演技が多くなっています。

これからも、体調が続く限り趣味のマジックを披露することを念頭に一日一日を楽しく過ごして行きたいと思っています。

燦燦会 第10回(昭和33年)卒 加藤博行

「燦燦会」とは昭和33年3月大津高校卒業の在関西同級会の会名である。

名前由来は単純に卒業年月の3が三つで「さんさん」と丁度その頃ヒットしていた美空ひばりの「愛燦々」の「燦燦」を勝手に借用している。

このことは鷹揚同窓会誌「鷹揚」(H15.12.5版)でも写真入り(天の橋立旅行の)で紹介させてもらったが地元熊本でも同級生以外の人で憶えている人は殆んどいないであろう。この燦燦会！そもそもの発端は「関西やんぼし会」にある。



私自身「関西やんぼし会」は第2回目からの出席だが、その年同級生は私を含めて7名出席していた。寒い2月の終りの頃で閉会后二次会と称して同級生だけで居酒屋へ繰り出し酔った勢いで4月は京都嵐山へ花見に行く約束までした。

今思えばそれが「燦燦会」の始まりであった。そう云ういきさつで始まった会の1回目が京都嵐山、2回目が六甲山、3回目初めての1泊旅行で天橋立などの丹後半島へカニ料理を食べに行った。平成15年2月参加者は9名(男性4名、女性5名)。JRの乗車券予約のとき8名以上なら団体割引利用出来ることを聞き申請用紙に「団体名」を書く時咄嗟に浮かんだのが「燦燦会」であった。

以後伊勢方面2回、和歌山白浜、河口湖畔、姫路、長浜、南淡路、和歌山加太など毎年の恒例行事のようになってきた。今年の秋も琵琶湖周辺を考えている。

旅行以外でも忘年会、新年会、各地の花見、奈良古都散策ある時は神戸港の船上で食事をしながら夜景を見る会まであった。メンバーの中には飲める人ばかりでなく全く飲めない人も数人いるが、必ず参加してもらえるのが嬉しい。

我が「燦燦会」のメンバーも今年から後期高齢者の仲間入り、健康の問題をはじめ諸事情により参加者が少し減ってきた。「散々会」にならぬよう努力しよう。

三七げんき会 第14回(昭和37年)卒 田代一眞

綾小路きみまろ流に言えば“あれから52年！”同級生の感懐としては“よくぞここまで来た！”ではないでしょうか。

卒業時同級生は202名(女性:87名 男性:115名)5クラス、平均40.4人。

たった二人の子供をまともに育てられなかった私、忸怩たる思いで先生のご苦勞に今さらながら頭を垂れております。

おかげで私たちは「三七げんき会」と称する同級会を重ねることができました。35回目の今年は“関西やんぼし会”会員同級生の世話で大阪・伊勢・奈良修学旅行に参加しました。今回も大変な盛り上がりでした。



“向かい風”背中を向ければ“追い風になる”の心意気で頑張っています。
 女性陣は「命がけ惚れたえくぼも皺の中」と揶揄されたら「古希だけど恩師の前では女高生」と言い返し、「深刻は情報漏れより尿の漏れ」などなんのその意気軒昂です。
 男性陣は「妻旅行 俺病院 ねこホテル」
 「朝起きて寝るまで特に用もなし」
 この状態になることだけは今しばらく堪忍というところでありませう。



それはそれ、我が[三七げんき会]は今後も慈父や慈母のような先生方に思いを致しながら健康に留意して人生を謳歌したいと存じます。そのことが大津高校と先生方への恩に報いる一つかなと思います。校門西大津中側生垣に大書してある「凡事徹底」を心に刻み。“関西やんぼし会”のますますの発展を祈念します。

「三七げんき会」代表
 大津町杉水 TEL : 096-294-1505
 e-mail : irodori325@gmail.com

関西やんぼし会の活性化

第14回(昭和37年)卒 日吉靖夫

熊本県立大津高校の関西の同窓会は、「関西や

んぼし会」として毎年1回の総会、懇親会及び数回の世話人会を開催して活動を続けております。

懇親会では大津高校で3年間を過ごした卒業生同士なので、年代は離れていても共通の話題には事欠きません。大先輩には旧制大津中学の卒業生の方もいらっしゃいます。私も大津高校を卒業して50年を過ぎましたが高校時代を懐かしく思い出しながら参加者の皆様との会話を楽しんでおります。

また、総会には高校の校長先生、揚鷹同窓会の会長も遙々熊本から出席いただき高校の現状、同窓会の現状等の報告もしていただいております。

今、以上のような状況で活動をいたしておりますが、参加してくれる卒業生がなかなか増えていってないのが現状です。いかにして出席者を増やして「関西やんぼし会」を活性化していくかが私たちの大きな課題となっております。

先日の世話人会の際に有志のメンバーで出席者を増やす取り組みをしようということになり、パソコンに強い人が「関西やんぼし会 オフィシャルサイト」を作成してくれました。また、名簿を作成してくれた人は全員に総会、懇親会の通知を郵送するように作成し、メンバーで手分けして全部の通知に自筆のメッセージを書いて出席を喚起していくように努力しています。

関西在住の熊本県立大津高校の卒業生の皆さん、「関西やんぼし会」の総会、懇親会の通知が届きましたら、是非参加してください。一人で参加してもすぐに楽しい会話に参加できて、気分もリフレッシュできます！

大津高サッカー部

～ここから始まった～

高25回(昭和48年)卒 松本 良伴

42年前の昭和47年5月9日、サッカー同好会は、念願のサッカー部に昇格いたしました。

その1年程前の私たちは、見るからに暇を持って余した平凡な高校生活を送っていました。部活動で汗を流すでもなく、真剣に勉強する

でもなく、流行っていたビートルズの曲やフォークソングを話題にしなが、部活動で頑張っている同級生たちを尻目に帰宅する毎日でした。

そのような時に、誰とはなしに「サッカー部を作ろう」との話しが持ち上がりました。

今で言うところの「いつやるの？今でしょ！」と、またとない絶好のチャンスにくすぶっていた闘志が沸々と湧き上がり、みんな必死になって部員を募り、米原先生に顧問をお願いして、サッカー経験のない部員13名、可愛い女子マネージャー3名の形ばかりの同好会が発足しました。

部への昇格と公式戦出場を合言葉に練習に取り組みましたが、出来立てホヤホヤの同好会には、当然ながら、予算もまともな練習場所もありません。



授業で使うサッカーボールを借り、自費で安価なユニフォームを揃え、他のクラブの練習を邪魔しないように、グラウンドの端っこの隙間や雑草が生い茂った空地、傾斜がひどく水捌けが悪い町民グラウンド、日吉神社の階段などを利用して練習に励みました。

部昇格を認めてもらうため、生徒や先生たちを見かけると、掛け声を一層張り上げ、存在感をアピールしたこともありました。

帰宅中の同級生たちから「頑張れよ！」「応援しているから頑張てね！」との温かい声援にどれだけ勇気付けられたことか、今でも鮮明に覚えています。

また、部員のモチベーションの違いに、あてもないこうでもないと思ひながら、笑ったり、怒ったり、喧嘩したり、練習試合の勝敗に一喜一憂し、公式戦での惨敗に涙したことも懐かしく思い出されます。

それから15年後の昭和63年1月、大津高サッカー部は、初めて熊本県代表として、憧

れの全国高等学校サッカー選手権大会出場を果たしました。

選手権大会をはじめとする全国大会の常連校となり、W杯日本代表を含む多数のJリーガーを輩出するなど、その後のめざましい活躍ぶりは、すでにご承知のことと思います。

創部メンバーのひとりとして、輝かしい伝統のほんの一部に関わりを持てたことは、光栄でもあり感謝の気持ちでいっぱいです。

10月からは、全国高等学校サッカー選手権大会出場をかけた熊本大会が始まります。全国大会制覇は夢ではありません。

微力ではありますが、今後も母校サッカー部を応援し続けてまいりたいと思っています。大津高サッカー部に栄光あれ！

心の拠りどころ「阿蘇」

第27回 昭和50年卒 田中佐恵美

私は熊本が大好き。そのうえ熊本に阿蘇山があることが誇りです。

私は、大阪に住んで40年になり、現在、東大阪市に住んで37年になります。ここ東大阪は、生駒山の麓に位置し、阿蘇山と同様に、朝晩、山を眺めることが出来て熊本に居る錯覚におちいり、くじけそうになればいつも山に向かって呟いていました。

ですから、私が長年大阪に住んでいられるのも、この環境のおかげかもしれません。私は物心ついてからいつも阿蘇山に抱かれ、阿蘇山に見守られながら成長しました。熊本を離れることは考えられもしませんでした。私の“もっこす根性”で熊本を去らなければならなくなりました。

それは高校卒業を控えて、両親に進路相談をした時です。私はジャーナリストになりたいと、両親に相談したところ、父に猛反対を受け、県外に就職すると駄々をこねたのですが無理も通らず、また、父に反抗も出来ず第二志望の浪速のお巡りさんを受験したのです。

私の美貌のお蔭か、それとも熊本弁が素敵だったのか、合格通知を貰いびっくりしましたが、一番喜んだのは父でした。親族一同を集めて送別会までしてくれたのですが、叔父たちは「一旗あげんと帰って来ればい」と言

うけれど、私は大好きな故郷を離れるのがとても辛く、大阪行きの夜行列車の中でいつまでも泣いていました。

その年の警察学校の入校式に両親揃って見に来ましたが、お巡りさんの颯爽とした姿、規律正しい振る舞い、そして私の誇らしげな制服姿を見て、大阪での出発に際して「頑張れよ」と背中を押してくれました。

それから38年間、浪速の地で頑張り抜き定年退職しました。その間、辛いとき苦しいとき生駒山を眺めては遠い熊本の両親、親戚、友達を思い出し、そして必ず「阿蘇山」を思い浮かべました。

大好きな阿蘇山はいつも両手を広げて私に「頑張らなっせ、どぎゃんこつあっても負けんばい、火の国のおなごだけん」と叱咤激励をしてくれ、私も火の国に、負けじと気を奮い立たせて向かって行ったのです。

そう、阿蘇山は私の心の拠り所なのです。私は大阪に来て40年にもなるのに訛りがとれず、よく出身地は何処ねと聞かれます。私はいつも胸張って、「火の国の阿蘇、熊本です。大津高校出身です」と誇らしげに答えます。

これは今後もずっと変わらない姿です。私の他にも大津高校出身を誇りにしている人達が沢山おり、その人たちが創るグループがあります。



名前は「関西やんぼし会」で、4年前にその会を知りました。私は興味津々で参加しましたが、「若い？」私でも皆さんは昔からの友人のように親しく話して甘えさせてくれるので、いつも火の国のパワーを貰います。本当に楽しい集いです。

是非この機会に、沢山の人が参加し、そして、よか国・熊本、阿蘇の思い出話を談義しようではなかですか。

「宮原眼科のスイーツ」

第14回(昭和37年)卒 塚元 眞彦

インターネットで“宮原眼科”を検索すると、台湾台中市に「宮原眼科」と呼ばれている有名なスイーツの店のページが出ます。最近、台湾の若者だけでなく観光客にも有名になり、“宮原眼科”のスイーツとして知られている。

台中駅前の旧商店街のような街並に歴史を感じさせるレンガ造り3階建てのビルがあり、壁には「宮原眼科」の大きな看板がある。お店の名称「日出」看板は店の入り口近くに、注意して探さないと見落とすような地味なのが付けられている。

「土鳳梨」ブランドで有名なパイナップルケーキは駅やみやげ屋では買えず、「日出」に行かないと食べられません。もう一つの名物は(冰淇淋)アイスクリームで、暖かい台湾では冬でもアイスクリームを食べている若者で店一杯だった。

台中市に行くとこの店を見に行き、旧統治時代の建物をそのまま使う台湾の人たちの懐の深さに触れることが出来るのが楽しみの一つである。



台湾には日本統治時代の古い建物がたくさんあり、現役で使われているもの、記念館等で使われているものがある。その代表的建物が旧台湾総督府で現在も台湾総統府として残っていて、台北市の観光スポットとしても有名である。

このように日本統治時代の建物を残し、必要に応じて改造しながら使い続ける台湾の人たちには反日感情は感じられない。日本語で話かけられ、80歳を超える人達は私たちが忘

れてしまったような敬語を使って話される人が多い。

私は台湾が大好きであり、好きな理由の一つがきれいな日本語で話し合えることである。高雄市の82歳になられる陳秋華さんもきれいな日本語を話されるお一人である。カラオケに行くと演歌を歌い、酔っぱらうとあなたの日本語は間違っていると指摘される。台湾での商売をしてくれた恩人であり、話していると豊かな気持ちにさせてもらえる。もう少し長生きしていただき、台湾に行ったときには楽しく語らいたいと願っている。

TOPICS [事務局便り]

★ ホームページ

第25回生 松本 良伴さんの尽力によりホームページを開設しました。

<http://www.kansai-yanboshikai.xyz/>

内容を充実させるべく奮闘中。

誰か手伝って頂ける人を募集中です。

★ 全国高等学校体育科コース スポーツ大会 女子バスケットボール **優勝**

8月 於：芦屋大学

★ 全国高校総合体育大会（インターハイ）

男子 サッカー **準優勝**

1回戦 大津高校 5 - 0 浦和東

2回戦 大津高校 2 - 2 立正大湊南

PK 5 - 4

3回戦 大津高校 3 - 2 初芝橋本

準々決勝 大津高校 5 - 0 海 星

準決勝 大津高校 1 - 0 前橋育英

決勝戦 大津高校 1 - 4 東福岡

☆ 得点源 坂元君、葛谷君に注目

★ 関西地区 サッカー選手

田中英雄 ヴィッセル神戸 D F

第53回 平成13年卒 宇城市豊野町

★ なでしこリーグ

渡辺 彩香 INAC神戸 D F

第60回 平成20年卒 菊陽町新山

★ 宝塚歌劇

真風 涼帆 本名：松谷諭里華

第92期 星組 男役 No.2

華鳥 礼良 姫野 豊 先生の孫

第97期 星組 娘役

(母校出身ではない)

★ 長野 良市 第28回 昭和51年卒

南阿蘇村河陽

「大河の源流」「九州の桜」など出版

阿蘇山を撮り続けている、郷土に根を生やしたプロカメラマン。

大津高校 90周年記念グッズ 有ります。

※ 大津高校同窓生の活躍を追いかけレポートしていきます。

この外、同窓生の活躍などの情報を教えてください。

同窓生の活躍は我々の誇りです。

みんなで誇りを共有して人生楽しく生きていきましょう。

※ 会員皆様のメールアドレスの登録をお願いします。

随時、入手した情報を配信していきます。

只今、10名の方に登録いただいています。

tsukamoto_kobe@ybb.ne.jp

090-3280-5787

事務局 塚元眞彦

特別寄稿

第60回 平成20年卒 菊陽町新山出身
INAC神戸レオネッサ DF 背番号21
渡辺 彩香

こんにちは。平成20年に大津高等学校を卒業した渡辺彩香です。



現在は、なでしこリーグのINAC神戸レオネッサに所属しています。

INAC神戸レオネッサには多くの日本代表選手が所属しており、トップレベルの環境で日々練習しています。

常に勝利を求められる中でプレッシャーと戦いながらも、楽しくサッカーをすることができています。

「関西やんぼし会」の皆様、これからも応援していただけるように頑張ります。

熊本での試合はもちろん、神戸での試合にも皆様でぜひお越しください。

—署名—

Profile 紹介

所属 : INAC神戸レオネッサ
ポジション : ディフェンダー
背番号 : 21
生年月日 : 1989年7月15日
身長 : 165 cm
体重 : 51Kg
出身 : 熊本県菊池郡菊陽町新山
ニックネーム : しん
趣味・特技 : 料理
自己アピール : スピード
前所属チーム : ASエルフェン狭山FC

私たちの後輩

渡辺彩香さんを応援に行きましょう！